

# beSure

ビー・シュア

都会暮らしのための  
インテリア&ライフスタイル。

特集 | ローリビングな部屋づくりませんか？

[隔月刊]  
1・3・5・7・9・11月の6日発売です。

54

JUNE 2002

SPECIAL FEATURE

低い暮らしで、くつろぎとやすらぎを。

## ローリビングな 部屋

### つくりませんか？

座る、寝ころぶ、置く、照らす……ローリビングなアイテム達  
マンションの和室を「タタミ」を活かして模様替え  
ローリビングを体験できるカフェ&レストラン

FEATURE

ミラノ・サローネ速報 ~日本の暮らしに欲しい家具~

¥880

# このアイテムで、ローリビング宣言。

ローリビングな暮らしは、くつろぎのカタチの可能性を広げてくれる。

座ったり寝ころんだり、気軽に家具の移動を楽しんだり。ゆったり包容力のあるスタイルだから、要素となるアイテムも大らかな切り口でとらえたい。どう使うかは、自分次第。

背の低さプラスアルファの心地良さを見つけて、ローリビングを始めよう。

Text: Takase Yukiko



ふっくらした形に、ほっと癒されて

側頭というネーミングも微笑ましい、丸い形で構成されたソファとスツール。つい近づいて身体を預けてみたくなる親近感がたまらない。しっかりと身体を受け止めてくれる座り心地もマル。●「manju sofa」ソファ(W70×D87×H67×SH30cm)15万円、スツール(W70×D70×SH30cm)7万円<ナグモデザイン事務所>



摩訶フシギな形状の癒しアイテム

野菜? ハンコ? 実は涅槃像がモチーフだというこのアイテム、見回してもどうやって使うか頭をひねるが、ころんとした形は抱きついても気持ち良さそう。それもOK。床に置いて、背もたれにして寄りかかるのもなかなか快適だ。●「NAP」(W60×D110×H73cm)受注生産品<サカイデザインアソシエイツ>

低い家具に座ることの気持ち良さは、床が身近に感じられ、低い目線でゆったり空間を捉えられることにある。それが実感できるのは、シートハイ35cmくらいまでのもの。ソファや椅子、クッションなど、最近は選択肢が充実してきた。座り心地も重視して選びたい。

## 座る



20cm



涼しげで弾力性に富む竹の魅力が集結

一昨年のミラノ・サローネでも好評を博した、竹の良さが存分に生かされたソファ。竹の弾力性がスプリング効果も生んでいる。背もたれのクッションの位置は自由に動かせるので、縁台のようにごろりと身体が伸ばせるのもうれしい。●「縁(EN)」(W240×D90×SH20cm)25万6000円<フォルム アッシュブラスバーン>

和室はもちろん、フローリングの空間にも

プラスチック家具の名作を数多く生んだヴァーナー・バントンだが、こんなにしっとりした味わいの椅子も手掛けていた。微妙な曲線の妙に、バントンらしさが光る。シートの色は、ほかにオレンジ、ベージュ、イエローから選べる。●「バントンタミチェア」(W45×D42×H52×SH14cm)3万9800円<ノルディックフォルム>



14cm



「和」であり「輪」である、人が集まる場所

円形の4分の1分割をベースに、色も連結もさまざまな組み合わせが選べる。ファスナーでつないで丸い大きな輪をつくれれば、大勢が座を囲める集いのスペースに。●「WA ソファ」本体(W40×H33×半径115cm)各1万8000円、アームレスト(W20×D67×H47cm)各5500円、フロアマット(W80×D80cm)各3800円<コクヨ インターネットサイト「イエリア」>